

口腔外科治療におけるティーツリーの有効性

福田歯科クリニック・岡山デンタルアロマセンター
(岡山県岡山市)

歯科医師 福田 達也

歯科衛生士 松田 比佐子



ティーツリーとは

ティーツリー (Melaleuca alternifolia) はフトモモ科の植物であり、その葉から水蒸気蒸留法によって抽出される精油は、テルピネン-4-オールを主成分として高い抗菌作用を有している⁽¹⁾。

精油の抗菌作用とは

抗生剤と比較した特徴を表1に示す。

粘膜への局所適用が効果的であり⁽²⁾、臨床実験では歯垢の減少、炎症の低下、歯肉炎の改善などが報告されている⁽³⁾。ティーツリーは細菌だけでなく、真菌・ウイルスにも抗菌活性を示す⁽⁴⁾。

当院におけるティーツリーの使用方法

(精油として)

ラベンダー精油とブレンドして：

癒傷促進を目的に、術後の創部消毒に使用

口腔外科治療における、その他の精油の使用状況

ラベンダー：

プレメディケーション、疼痛閾値上昇⁽⁵⁾、術者・アシスタントへの心理的作用、根管内貼薬、睡眠時無呼吸症候群、夜間歯ぎしりによる筋痛緩和

ペパーミント：

鎮痛作用を目的に、術後ガーゼに浸透させて使用

ローズマリーカンファー：

顎関節症（咀嚼筋痛障害）、筋・筋膜性歯痛

まとめ

アロマセラピーはセルフメディケーションの一つとして患者QOLを向上させるものであり、歯科医院で活用することで患者・スタッフ・医院三方よしとなる伝家の宝刀である。

表 1

	抗生剤	精油
抗菌活性の特徴	殺菌的	静菌的
作用機序	細胞壁等	細胞膜
薬物動態	時間依存	濃度依存
耐性菌の発現	多い	少ない
抗菌スペクトル	系統による	広い
抗真菌作用	なし	あり
抗ウイルス作用	なし	あり
耐性菌への抗菌作用	なし	あり
常在菌（腸内細菌）への影響	排除する	排除しない
白血球増加	なし	あり
NK細胞の活性化	なし	あり
心理的作用	なし	あり

歯科医院で取り組むアロマセラピーについてはこちら

▶ 岡山デンタルアロマセンター



競走馬へのメディカルアロマセラピーの取り組み

▶ Instagram



▶ YouTube



【参考文献】

- (1) 芋川浩, 今浪愛里. 精油 (ティーツリーとラベンダー) の抗菌効果の検討 福岡県立大学看護学研究紀要 11(2), 63-70, 2014
- (2) P.Belaiche : Phytother., 15, 13 (1985).
- (3) Y.Pelissier, C. Marion, J. Casadebaig, M. Milhan, D. Kone, G. Loukou, Y. Nanga & J.-M. Beissiere : J. Essen. Oil Res., 6, 623 (1994)
- (4) ワンダ・セラール. アロマセラピーのための84の精油. フレグランスジャーナル社
- (5) 谷口恵子. 実験的疼痛の閾値に対する芳香吸入の効果 Japanese Journal of Nursing Art and Science Vol 2, No 1, 69-75, 2003